## 福岡県地域生活定着支援センターの事例

## きっかけ 体制構築のポイント 効果 居住支援協議会の運営法人に勤 ・ センターが活用可能な資源に関す • センターと居住支援協議会それぞれ 務する職員であっても、形余者支援 **る周知:**センターが形余者支援の の連絡窓口が明確となり、顔の見え に必要な知識を有していない場合 知識や技術を有していることを居住 る関係を築くことができた。 連携の概要 があるため、協議会側にセンターと連 支援協議会に周知したことで、連携 • センターは居住支援協議会と日頃か 携する潜在的なニーズがあった。 体制が構築された。 ら連絡を取り合えるため、当該エリア 各種会議・勉強会を通じて、セン の社会資源の状況確認や支援ケー ターが居住支援協議会のキーパー スの相談が気軽にできるようになった。 ソンと連絡を取り合うようになったこと が連携の契機となった。 大牟田市 空き家物件の確保、入居支援 複雑・複合的な課題の相談 福祉課 他部署 (重層事業を所管) 支援対象者 居住支援に関する相談 体制図 大牟田市 居住支援協議会 市外への転居を希望し 牛活支援、 住まいの確保等に関 た支援対象者に住まい NPO法人大牟田 身元保証等の支援 する個別ケースを相談 福岡県地域生活 を紹介 ライフサポートセンター 定着支援センター (居住支援協議会事務局) 福岡県の基本情報(令和7年1月時点) センターの基本情報(令和7年1月時点) センターは年1回開催される居 住支援協議会総会に参加し、 60 職員数 ケースごとにNPO法人ライフサ 11名 市町村数 ポートセンターと相談・協力し 29市、29町、2村 ている 設立年 平成22年 人口 512万人 運営主体の法人格 特定非営利活動法人

略称…センター:福岡県地域生活定着支援センター